

明末清初

— 動乱期を生きた文人たち —

1644年の甲申こうしんの変により270年余り続いた明王朝は崩壊、その後満州族の清王朝による支配が確立します。この政治的・社会的・民族的動乱期にあって、文人たちは明朝に殉じゆんずる者、南方に逃れて清軍に抵抗を続ける者、清に仕えず明の遺民として詩文書画に専心する者、あるいは清朝きょうじゆんに恭順して官職に就く者など、多くは波乱の人生を歩みました。

またこの時期は都市が発達し、それぞれに独特の書画が生まれました。そして蘇州・杭州そしゅうこうに代表される江蘇や浙江の江南地区はもちろん、本展の出陳作に見るように福建・河南・貴州・山西・安徽きしゅうさんせいあんきなどからも著名な書画人が出ています。

激動の時代を反映するかのような、個性あふれる作品をお楽しみください。